

「本物」が結んだ男の絆。

長瀬剛

シルベスター・スタローン!

”消耗品軍団”と名乗る7人の傭兵たちが、超絶アクションを繰り広げる「エクスペンダブルズ」。スーパースターが勢揃いしたことも話題の映画が、公開される。これを記念し、監督・脚本・主演をつとめたシルベスター・スタローンと、日本版主題歌「絆-KIZUNA-」を歌う長瀬剛との奇跡の対談が実現した。開始早々力強い握手を交わし、まるで旧知の仲のような二人。映画と音楽、互いの戦場で戦い続ける「本物」の男たちにどのような「絆」が芽生えたのか。

悔しき、逆境が力に、心に響く作品を作りたい

長瀬(以下N) 映画、とても素晴らしい作り物ではない、肉体と肉体のぶつかり合いが最高だ。

スタローン(以下S) 映画は困難なものほど作りがある。CGもいけれど、チャレンジ精神を削ぐんだよ。やはり、肉体をぶつける方が本物だと思う。俺は子どもの頃、弱いもの、困っている人を助けるのが人間のあり方だと教わった。そのためには肉体や精神力を鍛え、強くなる必要がある。それをランボーでも、ロッキーでも描いてきたんだ。

N まったくその通り。学校や社会や大人たちが教えてくれないことを、スタローンは「生懸命、俺たちに映画で教えてくれたんだ。

S あなたもそうだろう。あなたの音楽は情熱の塊だ。常に真実を歌っている。それがファンに響くのだらう。俺もそういう映画を作りたい。頭ではなく、心に響く映画をね。それが俺たちの共通点だ。

N ありがとう。

S この年になって、映画を作るときには、この映画は生涯で最後の作品だと思っちゃっていい

る。自分の全てをつぎ込み、血を与えるという覚悟でね。

N スタローンはみんなが憧れるヒーローだ。俺はその昔、体が弱く、カリガリだった。少年の頃、東京オリンピックをテレビで見ただ。その時、とてもないバーベルをガツ!!と持ち上げた重量挙げの三宅義信選手、そして、裸足のマラソンランナー、アベハ。中学時代はブルース・リー。彼らのように強くなりたいと思った。その根底にあるのは、自分が昔、劣等感を抱き、なおもいじめられたりした悔しさ。あなたの場合は、映画への情熱をキープし続ける根底にあるものはなんなのだろう?

S 俺もやせっぽちで、家庭も最悪だった。その逆境が力をくれた。12歳のときに見た映画、ステイブ・リーヴスの「ヘラクレス」に憧れて体を鍛えたんだ。1本の映画が人生を変えた。俺の作る映画でもそういう事ができる。そこに今の俺がある。

N 悔しき自分の人生の宝物だね。

S そうだね。できないからあきらめるのではなく、できるとして挑戦することが大切だ。

N 俺の新しいアルバムタイトルも「TRY AGAIN」(トライ・アゲイン)だよ(笑)

S いいね。今でもハングリーなのかい? もちろん。いまだに、勝った気がしない。俺もだ。まだまだ挑戦すべき事はたくさんある。音楽にしろ映画にしろ、我々に与えられている天賦の才は、本当に素晴らしい宝物なんだよ。死が訪れるまで、その才能を生かし続けたいと思ってるよ。

8人目のエクスペンダブルズ 次回作への出演も!?

N ところで、「ロッキー」でやっていたように、生卵を毎日5、6個飲むの?

S そんなわけないだろ。

N え!? 俺、トレーニングの後に生卵の白身だけ5、6個飲むんだけど。

S お前、体を壊すぞ(笑)

N えっ!? たって、みんなスタローンの真似をしてんだぜ!

S あれば映画のために飲んだんだよ(笑)

N 責任とってくれよ(笑)

S わざと企んだんだ(笑)

N 今でもトレーニングはしているの?

S ものすごくトレーニングしているよ。最近科学的なトレーニングをしている。

N 俺はいつも朝起きたときに、150回腹筋しているよ。坂道ダッシュも。

S ダッシュ? 俺は走るのが大嫌いだよ。

N たって、映画の中で、飛行艇を追いかけて猛ダッシュしてたじゃないか! (笑)

S そうかい。走るのは映画の中だけだよ(笑)

N なんだよ、みんなスタローンのやることを信じているんだよ(笑)!

S それは映画のためだから(笑)。そんなに鍛えているんなら、次回作に出てくれよ。いつからインできる?

N ほんとかい? いつでもいいよ。今回の主題歌もやるよ! (笑) いえ、今回の映画には、シユワルツエネッガーも出ていて、二人の会話もものすごく面白かった。あのセリフは脚本? それともアドリブ?

S 脚本だよ。観客が喜ぶと思って。今回は、様々な仲間たちとい仕事が出来たよ。

N エクスペンダブルズは7人だけど、俺はそうは思わない。もう一人いる。それは俺だ! それを絶対忘れないでくれ。日本でしっかりPRするぜ!

S OK! 頼むよ!

シルベスター・スタローン 1946年生まれ。アメリカ・ニューヨーク出身。自ら脚本を書き、主演した「ロッキー」(76)がアカデミー賞作品賞を受賞して、一躍脚光を浴びる。以後、俳優、脚本家、監督としてキャリアを積み、「ロッキー」シリーズ、「ランボー」シリーズなどビッグヒットを飛ばす。

最強無敵のアクション映画 「エクスペンダブルズ」



シルベスター・スタローンが監督・脚本・主演をつとめ、主役級のアクションスターが大集結した超大作。全米興行収入ランキング2週連続1位を記録。さらに米国で大ヒットの目安となる1億ドル(約85億円)を、スタローン作品としては25年ぶりに突破するなど、記録づくめの話題作が、ついに日本上陸だ。最強の男たちの本物の肉弾バトルを見逃すな!

■10月16日(土)全国ロードショー!

日本版主題歌 長瀬剛「絆-KIZUNA-」



「我慢がならねえ 俺たちの道を ちぎれぬ仲間と 強い絆を結べ!!」と豪快に歌う同曲は、主題歌のオファー前にすでに制作されており、新たに書き下ろした楽曲ではないが、歌われている世界観が、「エクスペンダブルズ」でシルベスター・スタローンが描く世界観と、驚くほどに通ずるものがあった。初対面から、長瀬とスタローンの魂はすでにシンクロしていたかのよう!

■10月13日(水)発売

